



代表作『みだれ髪』
作品の魅力に迫る
を通して晶子の人生と



講師：今野 寿美（こんの すみ）さん

<プロフィール>

歌人。現代短歌の代表的作者の一人。東京都生まれ（1952年5月10日～）。東京都立九段高等学校、横浜市立大学文理学部卒。1976年「まひる野」入会。在学中より作歌を開始。1992年、夫の三枝昴之らと歌誌「りとむ」創刊。現在編集人を務める。「りとむ」はリズムのフランス語「リトゥム」に由来している。2015年に宮中歌会始選者になった。萩原慎一郎の短歌の才能を見出し、りとむ短歌会に勧誘したことで知られる。

<受賞歴>

- ・1979年 「午後の章」50首により第25回角川短歌賞受賞。
- ・1989年 歌集『世紀末の桃』により第13回現代短歌女流賞受賞。
- ・2005年 歌集『龍笛』により第1回葛原妙子賞受賞。
- ・2010年 歌集『かへり水』により第37回日本歌人クラブ賞受賞

<著書・編著>

「24のキーワードで読む与謝野晶子」、「読んでみよう わくわく短歌—国語がもっと好きになる本」、「みだれ髪 与謝野晶子 角川文庫 2017 現代語訳・解説」等受賞作他多数。

今回の講座では、日本の近代短歌を切り開いた女性の文豪の一人“与謝野晶子”に光をあてます。その足跡は巨大で、情熱の歌人と謝野晶子は、それまでの旧派和歌とはまるで異なる言葉を使って歌にメッセージを込めた短歌をつくりあげ、近代短歌に革命をもたらしました。また、与謝野晶子の「源氏物語」、小説、評論、児童文学で数々の優れた作品を残しました。講師には、羽村市民と近隣市民に晶子の代表作“みだれ髪”を中心に晶子文学の魅力を紹介していただきます。

☆講座初日終了時に、「作品を読んだ感想や講師に聞きたいこと」についてのアンケートを実施します。第2回目の講師のお話に生かしていただく予定ですので、ご協力ください。

日 時：6月12日（土）、7月11日（日）

午後1時30分～午後3時30分（全2回）

会 場：羽村市生涯学習センターゆとろぎ 講座室1

新型コロナウイルス感染症拡大防止について

- ・席の間隔に余裕を持たせた座席配置としています。
- ・参加の際は、マスク着用や手指消毒など新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください。
- ・当日の体温が37.5℃（または平熱+1℃以上）ある場合や体調が優れない場合は、参加をお控えください。
- ・感染状況により、延期または中止となる場合があります。予めご了承ください。

- ◆対象：一般
- ◆定員：30名（先着順）
- ◆受講料：1,200円（全2回分、講座初日に支払い）
- ◆申込期間：4月15日（木）（市外在住の方は4月22日（木））から定員に達するまで
- ◆申込方法：午前9時から午後8時までに、電話、電子申請サービス、または直接ゆとろぎへ
- ◆主催：羽村市教育委員会
- ◆企画・運営：ゆとろぎ協働事業運営市民の会
- ◆問合せ：羽村市生涯学習センターゆとろぎ TEL：042-570-0707（祝日を除く月曜休館）



電子申請QRコード